

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	幼児と健康		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬, 小川 真由子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

領域「健康」の指導に関する、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を、映像資料や具体的事例等を活用し、身に付ける。なお、メディア授業となった場合の質問等の受付については、授業内に指示する。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。授業の内容に応じてディスカッション及びグループワークや模擬保育等を取り入れる。また3回程度メディア授業を実施する予定である。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	幼児の健康Ⅰ 健康課題	乳幼児期の心と体、運動発達等の健康課題 (担当: 伊藤数馬)	<input type="checkbox"/>
第2回	幼児の健康Ⅱ 健康の定義と意義	健康の定義と乳幼児期の健康の意義 (担当: 伊藤数馬)	<input type="checkbox"/>
第3回	体の諸機能の発達と生活習慣の形成Ⅰ 発達的特徴	乳幼児の体の発達的特徴 (担当: 小川真由子)	<input type="checkbox"/>
第4回	体の諸機能の発達と生活習慣の形成Ⅱ 基本的な生活習慣	乳幼児の基本的な生活習慣の形成と意義 (担当: 小川真由子)	<input type="checkbox"/>
第5回	安全な生活と怪我や病気の予防Ⅰ 安全教育	幼児の安全教育・健康管理 (担当: 小川真由子)	<input type="checkbox"/>
第6回	安全な生活と怪我や病気の予防Ⅱ 安全管理	幼児期の怪我の特徴や病気の予防、安全管理 (担当: 小川真由子)	<input type="checkbox"/>
第7回	幼児期の運動発達と身体活動Ⅰ 運動発達	乳幼児期の運動発達の特徴と多様な動きを獲得することの意義 (担当: 伊藤数馬)	<input type="checkbox"/>
第8回	幼児期の運動発達と身体活動Ⅱ 運動経験	日常生活における幼児の動きの経験と配慮 (担当: 伊藤数馬)	<input type="checkbox"/>
第9回			<input type="checkbox"/>
第10回			<input type="checkbox"/>
第11回			<input type="checkbox"/>
第12回			<input type="checkbox"/>
第13回			<input type="checkbox"/>
第14回			<input type="checkbox"/>
第15回			<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

毎授業前までに授業で扱うテキストの章 (またはページ) で興味をもった事柄やわからない字句、内容を調べる (2時間程度)。授業の中でわかりにくかったこと、テキストや配布資料で疑問となったことは授業担当者に尋ね、参考書などで調べる (2時間程度)。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

課題に対するレポートについては、まとめて翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つことで理解を深める。

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	健康の定義と乳幼児期の健康の意義、健康の発達の意味を理解することができる。乳幼児の体の発達の特徴、基本的な生活習慣の形成とその意義を理解することができる。 幼児期の運動発達の特徴と意義、安全な生活と怪我や病気の予防について理解することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	乳幼児の「健康」における内容の関連性及び日常生活とのつながりを理解し、乳幼児教育における評価の考え方を理解できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
小テストや授業内で扱ったテーマについて、概要を調査し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「事例で学ぶ保育内容領域健康」 (武藤隆著、萌文書林)	978-4893472564
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「幼稚園教育要領」 (平成29年3月告示, 文部科学省)	
2	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示, 内閣府・文部科学省・厚生労働省)	
3	授業中に適宜資料を配布する。	
4		
5		